

アジアでのプレゼンスを強化するため、 生産体制の整備に注力しています。

三菱自動車は、2017年2月にフィリピン工場で『ミラージュ G4』の現地生産を開始、5月からは『ミラージュ』の生産も開始しました。さらに、2017年4月にインドネシアで新工場の操業を開始し、主力車種である『パジェロスポーツ』の生産を始めました。今秋には『エクスパンダー』の生産も開始します。また、三菱自動車にとってアセアンの最大生産拠点であるタイでは、日産自動車とのアライアンスを活かし、さらなる収益性向上を目指しており、グローバル生産拠点の中核的な役割を担うこととなります。これらの生産体制の整備により、三菱自動車のアセアンでの生産能力は60万台を超え、グローバル生産能力の40%以上を占めることとなります。

一方、中国においても2016年10月に『アウトランダー』の現地生産を開始しました。これにより、コスト競争力を強化し、三菱自動車の戦略モデルとして販売拡大に弾みをつけていきます。また、エンジンの現地生産プロジェクトを進めており、2018年12月には生産を開始する予定です。



インドネシアで生産を予定している次世代クロスオーバー MPV『エクスパンダー』



中国で『アウトランダー』の現地生産を開始

2016年8月、中国における日中合弁の車両生産・販売会社である広汽三菱汽車有限公司が『アウトランダー』の現地生産を開始しました。広汽三菱は、2012年9月の設立後『ASX』や『パジェロスポーツ』を生産し、中国における生産・販売拠点として重要な役割を担ってきました。『アウトランダー』の現地生産開始により、中国自動車市場の中でも特に伸張著しいSUVの商品展開を強化し、販売拡大を図ります。

中国市場は2,800万台まで需要が拡大し、全世界需要の3分1を占めています。三菱自動車のシェアは低い水準にあり、販売を伸ばすチャンスがある市場です。



『アウトランダー』

フィリピンで『ミラージュ G4』『ミラージュ』の生産を開始

経済が好調なフィリピンにて積極的に事業展開を行っています。フィリピン政府は2015年5月に、自動車産業の国際競争力強化を目的とし、「包括的自動車産業再生プログラム (CARSプログラム)」を発表しました。三菱自動車の『ミラージュ G4』は、同プログラムの支援を受けた車種として2017年2月より現地にて生産を開始しています。2017年5月からは『ミラージュ』の生産も開始し、同国での販売を伸ばしていきます。



フィリピン車両生産工場



インドネシアのブカシ工場が生産を開始

2017年4月、生産合弁会社ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシアのブカシ工場が生産を開始しました。新工場での生産により、インドネシア並びにアセアン地域でのプレゼンス強化を目指します。ブカシ工場の生産能力は年16万台。まずは、SUV『パジェロスポーツ』の生産を開始しており、次いで7人乗りの『エクスパンダー』の生産を今秋から開始する予定です。

2億6千万人と世界第4位の人口を有するインドネシアでは、自動車所有率は1,000人中78台で中国よりも少なく、タイの半分以下です。経済成長とともに、乗用車需要が急増している市場です。



インドネシア ブカシ工場



工場開所式